食肉科研/行政情報等発信サービス

No.132 2018/9/8

1 新たなJASマークの一般投票開始について

農林水産省では、生産、製造や管理方法に特色のある農林水産品に表示する新たなJASマークのデザインを決定するため、平成30年9月4日（火曜日）から一般投票を開始した。投票期間は、平成30年9月4日（火曜日）～平成30年9月30日（日曜日）（必着）、一般投票の結果により、平成30年10月頃に新たなJASマークを決定し、公表される。概要は次のとおり。

JASマークは、ハムソーセージなどに表示されているいわゆる丸JASマークと、熟成ハムなど、高付加価値やこだわりのある規格（特色のある規格）に付するマークに大きく分けられ、後者のマークは現在4種類（特定JASマーク、生産情報公表JASマーク、定温管理流通JASマーク、有機JASマーク）あります。

今年度施行された改正JAS法で、特色のある規格を制定できる対象が拡大したことを踏まえ、消費者に分かりやすく、また、マークの認知度を高めるため、特定JASマーク、生産情報公表JASマーク、定温管理流通JASマークの3つのマークを統合し、新たなデザインで統一することとしました。

http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/syoku_kikaku/180904.html

（食肉科研注）

特定JASマークである熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類についても、新JASマークの様式に変更される予定です。新JASマークへの移行は、所定の手続きを経て告示されますが、所要の経過措置期間が設けられることになっています。